

防災通信

No.42号

2024年4月1日

県ドリームハイツ防災隊 教育広報部

TEL&FAX 045-851-2596

県ドリームハイツ(以下、ハイツという)での防災は、地震により想定される災害(電気・水道・ガス等ライフラインの欠如、伴う火災を含む)を最小限にすることを基本として、各種対策を進めています。防災通信では、上記基本に基づく多くの具体的防災情報をお伝えしておりますが、本号では**自主防災隊**(以下、防災隊という)の**主な活動項目**及び**1つの具体項目(心肺蘇生・AED)**を報告します。昨今大きな災害が発生していますが、防災は皆様の生命を守る要点としてご協力をお願い致します。

[防災隊の活動項目概要]

1. 防災意識の向上・防災知識の浸透

防災訓練、各種(心肺蘇生・AED、対煙避難、震度体験等)の講習・体験の実施

2. 自助防災の充実の勧め

- ・ 発災時の適正行動の定着 他
- ・ 被災後在宅避難への準備(家具等の固定、火災警報器等の整備、食料・水等の備蓄 他)

3. 救援物資の備蓄、維持管理

避難・誘導に関わる機材(汎用発電機、炊き出し機材、浄水装置、防災井戸等)の管理と使用訓練

4. 防災に関わるインフラの適正使用の浸透

- ・ エレベーターに閉じ込められたときの的確な救出依頼手順(インターホンの適正使用他)の周知
- ・ 飲用浄化水の配布、防災発電機の活用(携帯電話の充電) 他

5. 上記に係る事項の広報(防災意識の浸透)

防災通信を通じて、各項目の具体的内容の広報活動

6. ハイツの行事への参画・作業協力

[心肺蘇生(※1)とAED(※2)]

1. 第一段階の救命処置(救急車が来るまでの処置⇒心肺蘇生とAED)の重要性
突然倒れた人の救命においては、**第一段階の救命処置**が非常に大切です。
この救命処置として**心肺蘇生とAED**を使用した場合の**救命率**は、これをしなかった場合の**2.4倍**というデータがあります。

※1 心肺蘇生:胸を強く圧迫して、脳や心臓に血液を送り込む処置

心停止から何もせず**3~4分以上経過すると脳の回復が困難**になります。

※2 **AED**:心臓に**電気ショック**を与えて**鼓動を回復**させる機器

AEDの電極パッドを対象者の体に貼ったとき、AEDが心電図を解析して電気ショックの要否を音声で指示する。



(以上、心肺蘇生とAEDの手順概要を裏面に記載します)



AEDは**管理棟玄関前**に配置(施錠なし)
⇒**24時間**いつでも**使用可**です

2. 心肺蘇生とAEDの手順概要 (※)



※ 119番通報、AEDの手配等の協力者は周囲の人を前提に記述しましたが、**家庭内で倒れた場合は近隣の方に協力を求める必要があります**。救命においては**近隣のコミュニティーの構築**が重要なことです。日ごろの付き合いと共に**電話、LINE**などの繋がりも大きな力として推奨します。

3. 心肺蘇生とAEDの体験についてのお願い

上記のとおり、心停止の人の救助は以上の処置にかかっています。

本通信ではその概要を記載しましたが詳細留意点は多々あり、その場にあたって**慌てず確実に実施**できるためには**講習(体験)**を受けておくことが重要です。

⇒定期的(年2回程度)に講習会を実施しています。是非**“講習会への参加”**をお願いします。

《防災隊員募集の案内》

“防災隊員を求めています” 年齢不問・女性も歓迎です
住民との交流・防災に関する知識の修得・周囲との親密性も生まれます